

令和8年度 シラバス

科目	単位数	学年					
公共	2	2					
教科書番号・教科書名		副教材					
007 実教出版 007-902 公共 新訂版 共につくる未来		フォーラム公共2026 公共新訂版 演習ノート					
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。【定期考査、小テスト、授業】</li> <li>・現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。【定期考査、小テスト、授業】</li> </ul>						
評価の方法	①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。【定期考査、小テスト】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。【定期考査、小テスト】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。【ノート、レポート】</li> </ul>				
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	第5章 民主国家における基本原理	1 民主政治の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ独立宣言とフランス人権宣言で示されている権利を読み取り、日本国憲法との関連について読み取ることができる。</li> <li>・法の支配の考え方や自由権や社会権をはじめとする基本的人権の歴史的な発展、立憲主義の考え方について理解している。</li> <li>・ホブズ、ロック、ルソーの考え方の共通点と相違点を読み取ることができる。</li> <li>・日本国憲法の基本原理について理解している。</li> <li>・憲法、法や規範の意義及び役割について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</li> <li>・日本国憲法の三大基本原理が私たちの人権や政治に果たしている役割について関心を高め、学んだ内容を基によりよい社会づくりに生かそうとしている。</li> </ul>	○	○	○
			2 民主政治の基本原則				
			3 民主政治のしくみと課題				
			4 世界の主な政治制度				
	5	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格	1 日本国憲法の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由権・平等権・社会権などの諸権利の内容について理解している。</li> <li>・冤罪や死刑制度、さまざまな差別、生存権の保障など、人権に関する現実社会の課題について理解している。</li> <li>・各種の基本的人権が保障されていることの意義を知り、関心が高まっている。また、たとえば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し、よりよい社会の実現を視野に、学習したことを社会の改善に生かそうとしている。</li> </ul>	○	○	○
			2 日本国憲法の基本的性格				
			3 自由に生きる権利				
6	第1章 日本国憲法の基本的性格	4 平等に生きる権利	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会の役割や権限、運営について理解している。</li> <li>・日本の政治機構について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</li> <li>・行政権の拡大について関心を深めており、官僚政治と官邸主導のそれぞれの長所と短所について主体的に追求しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	
		5 社会権と参政権・請求権					
7	第2章 日本の政治機構と政治参加	6 新しい人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会の役割や権限、運営について理解している。</li> <li>・日本の政治機構について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</li> <li>・行政権の拡大について関心を深めており、官僚政治と官邸主導のそれぞれの長所と短所について主体的に追求しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	
		7 人権の広がりや公共の福祉					
第2学期	9	第2章 日本の政治機構と政治参加	8 平和主義とわが国の安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解している。</li> <li>・地方財政や地方自治の現状について、客観的なデータに基づいて分析し、適切に表現している。</li> <li>・違憲審査権の行使について主体的に追究して、よりよい社会の実現を視野に、司法のあり方について検討している。</li> </ul>	○	○	○
			9 こんにちの防衛問題				
			1 政治機構と国会				
	10	第1節 公共の扉 第1章 社会を作る私たち	2 行政権と行政機能の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサイクルのなかの青年期の発達課題について理解している。</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、青年期の意義や特徴への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。</li> <li>・人間の幸福な生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの考え方を理解している。</li> <li>・なぜ極端や過不足を退けた中庸を選択すべきと考えられるのか、協働的に考察し、その結果を適切に表現している。</li> <li>・個人の幸福と社会の幸福の調和をめざした、ベンサムとミルの考え方を理解している。</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、社会の公正なあり方についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。</li> </ul>	○	○	○
			3 青年期と自己形成				
			4 自己形成の課題				
			5 キャリアと社会参加				
11	第2章 人間としてよく生きる	6 伝統文化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の尊厳や平等について、その背景にある生命尊重と非暴力の思想や、個人の尊重の考え方を理解している。</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、人間の尊厳と平等、個人の尊重といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	
		1 古代ギリシアの人間観					
		2 宗教と人間					
12	第3章 他者とともに生きる	3 科学と人間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の幸福と社会の幸福の調和をめざした、ベンサムとミルの考え方を理解している。</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、社会の公正なあり方についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。</li> </ul>	○	○	○	
		4 自由の実現					
第3学期	1	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第3章 現代の経済社会	5 社会を作る人間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解している。</li> <li>・資源の効率的な配分について、効率性と公平性の観点から多面的に考察している。</li> <li>・需要と供給により価格と生産量が変化することを理解している。</li> <li>・現代社会における市場の失敗の事例を分析し、その原因と解決策について多角的に考察している。</li> </ul>	○	○	○
			1 人間の尊厳と平等				
			2 自由・権利と責任・義務				
	2	第4章 民主社会の倫理	7 経済成長と国民の福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融は、信用創造等により、家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ、生産性を高め、社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。</li> <li>・中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解している。</li> <li>・景気のそれぞれの局面に対処するため、日本銀行がどのような政策をとっているか、企業との関係も含めて多面的・多角的に考察、構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</li> </ul>	○	○	○
			8 金融の役割				
			9 日本銀行の役割				
	3	第4章 日本経済の特質と国民生活	10 財政の役割と租税	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経済における中小企業の構造的な課題について、大企業との関係や国際化の観点から多面的・多角的に考察している。</li> </ul>	○	○	○
11 日本の財政問題							
3	第4章 日本経済の特質と国民生活	1 戦後日本の経済の成長と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経済における中小企業の構造的な課題について、大企業との関係や国際化の観点から多面的・多角的に考察している。</li> </ul>	○	○	○	
		2 転機に立つ日本経済					
3	第4章 日本経済の特質と国民生活	3 経済社会の変化と中小企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経済における中小企業の構造的な課題について、大企業との関係や国際化の観点から多面的・多角的に考察している。</li> </ul>	○	○	○	